

民生委員児童委員の日

あなたに寄り添う民生委員

困りごとや悩み事の相談相手に

皆さん民生委員児童委員ってご存じですか。民生委員児童委員の制度は1917年に岡山県で公布された「済世顧問制度」が前身とされ、去った2017年で100周年を迎えた大変長い歴史を有するボランティア制度です。この制度の最大の特徴は全国津々浦々に民生委員児童委員が配置されていることです。あなたのそばにも民生委員児童委員がいるのです。市町村によって担当世帯数は異なりますが、那覇市の場合は約320世帯に1人の割合で民生委員児童委員が配置されています。民生委員児童委員の活動内容は困っている方に対して様々な福祉の制度につないで問題解決にあたりといった支援活動を行っています。生活困窮者の支援から始まった制度ですが少子高齢化と言う社会構造の変化、核家族化の進行や未婚者の増加による独居者がもたらす社会的孤立化と言う課題、地域コミュニティーの希薄化や価値観の多様化と言った意識の変化等々、多様化した社会への支援は複雑多岐に亘っています。そのような様々な場

面で生じる課題に寄り添い、支援活動を行うのが民生委員児童委員です。

さて、5月12日は民生委員児童委員の日です。民生委員児童委員の存在や活動内容を広く知ってもらう大切な日となっています。

全国一斉（各市町村ごと）に記念行事や式典が行われます。ところが昨年一昨年とコロナ禍で中止を余儀なくされました。今年は何とか開催できればと願っているのですが。

長引くコロナ禍は多方面に更なる課題を生じさせています。なかでも高齢者や障がい者は外出を控える生活を送ることで心身の健康面でマイナスの影響を受けているようです。足腰をはじめとする体力の衰え、他人との会話不足による認知機能の低下と言った問題。更には、経済活動の低下による生活困窮者の増加と言う全社会的な問題等があります。一方で、民生委員児童委員は活動の基本である訪問や相談活動は接触を伴うので控えざるを得ないという状況にあります。コロナ禍で困っている方が増えているなかで新たな支援活動を模索していく必要があります。コロナと共生した支援活動への取り組みです。那覇市民生委員児童委員連合会ではホームページを開設しました。更に民生委員児童委員の活動を知ってもらうために広報

誌の全戸配布に取り組んでいます。個別の相談活動として電話や手紙を活用する取り組みも行っています。コロナ禍にあっても地域の人々に寄り添った支援活動を続けていく民生委員児童委員があなたの周りであることを忘れないでください。困りごとや悩み事を一緒に解決しましょう。

那覇市民生委員児童委員連合会 会長 眞榮城嘉政 73歳